

シンポジウムS2 辺縁の人類史：アジア島嶼域におけるユニークな人類進化をさぐる

A study of unique human evolutions in the insular areas of Asia

オーガナイザー：海部 陽介

10月8日（15：30～17：30）D会場

ダーウィン以降150年にわたる研究により、猿人から原人、旧人、そして新人(ホモ・サピエンス)にいたる人類進化の大筋が解明されつつある。一方で近年、アジアの辺縁地域ではこの“メインストリーム”の進化とは異質な歴史が刻まれていたことが明らかになり、大きな注目を集めている。我々は同タイトルの科研費(基盤A)プロジェクトにおいて、大陸内部と対比した島嶼地域に注目して人類進化の多面性を理解することを目指し、インドネシアと台湾の古代型人類化石を、形態と年代の両面から調査してきた。本シンポジウムではその主な成果をまとめて公表し、さらなる議論の場としたい。

講演

趣旨説明（海部 陽介）

S2-1 サンブンマチャン（ジャワ島）の地質構造と原人化石の出土層位（佐野 貴司）

Geology of Sambungmacan (Java Island) and stratigraphy of hominid fossil (Sano, Takashi)

S2-2 フィッショントラック法によるサンブンマチャン（ジャワ島）の原人化石の年代の見積もり（長谷部 徳子）

Age estimate of hominid fossil from Sambungmacan, Java, by fission track method (Hasebe, Noriko)

S2-3 ジャワ原人の脳容量の進化傾向（久保 大輔）

Evolutionary change of endocranial volume in Javanese *Homo erectus* (Kubo, Daisuke)

S2-4 台湾・澎湖動物群とその年代・古環境（高井 正成）

Penghu fauna and its geological age and paleoenvironment (Takai, Masanaru)

S2-5 台湾沖海底からみつかった原人化石（澎湖1号）について（河野 礼子）

An archaic *Homo* mandible from Taiwan (Kono, Reiko T.)

S2-6 辺縁の人類史：ジャワ・フローレス・台湾を中心としたアジアの多様な原人進化（海部 陽介）

Human evolution at the continental edge: Diverse evolution of archaic *Homo* in Asia with particular emphasis on Java, Flores, and Taiwan (Kaifu, Yousuke)